

船舶事故調査報告書

平成26年5月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	操縦者行方不明
発生日時	不明（平成25年3月9日 14時30分ごろ～15時00分ごろの間）
発生場所	不明（三重県津市白塚漁港 ^{しらつか} ～三重県伊勢市所在の宇治山田港大湊防波堤灯台から真方位015° 7.1海里（M）付近の間 ^{おおみなと} ）
事故調査の経過	<p>平成25年3月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての操縦者からの意見聴取は、本人が行方不明のため行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{きちえい} 吉栄丸、3.6トン ME3-61668（漁船登録番号）、個人所有 9.38m（Lr）×2.36m×0.85m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数35、平成8年3月
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 35歳 操縦免許 なし
死傷者等	行方不明 1人（操縦者）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、操縦者が1人で乗船し、友人の故障したレーダーのモニターを運搬するため、平成25年3月9日13時30分ごろ白塚漁港を出港し、電機店に近い三重県鳥羽市鳥羽港に向かった。</p> <p>操縦者は、14時30分ごろ携帯電話で鳥羽市内の電機店主に15時00分ごろ電機店に到着すると連絡したが、電機店主が15時00分ごろかけた電話に出ず、15時00分過ぎになっても電機店に現れなかった。</p> <p>本船は、18時30分ごろ、宇治山田港大湊防波堤灯台から真方位015° 7.1M付近において、無人で機関が運転され、右舵一杯とし、約18ノットの速力で旋回しているところを航行中の漁船によって発見された。</p> <p>操縦者は、海上保安庁の巡視船及び航空機並びに僚船によって捜索が行われたが、発見されず、平成26年1月15日現在も行方不明である。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 2、視界 良好

	<p>海象：海上 平穏、潮流 南流の最強期から転流期</p> <p>日没時刻：17時44分</p>
その他の事項	<p>操縦者は、実父が経営するひき網漁業の漁船に乗り組んでいた。</p> <p>操縦者は、小型船舶操縦免許証を受有していなかった。</p> <p>本船は、本事故の2日前から漁船団の故障した運搬船に代わって用船されていた。</p> <p>本船に他船と衝突したと思われる痕跡は、なかった。</p> <p>救命胴衣は、本船に備え付けられていたが、全てが保管場所に残っていた。</p> <p>操縦者の持ち物は、操舵室に残されていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>操縦者は、行方不明となった。</p> <p>本船は、13時30分ごろ白塚漁港を出港後、18時30分ごろ、宇治山田港大湊防波堤灯台から真方位015°7.1M付近において、無人で右旋回しているところを発見されたことから、この間において、操縦者が落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>操縦者は、小型船舶操縦免許証を受有しておらず、小型船舶操縦者として本船に乗船してはならなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が白塚漁港を出港後、操縦者が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人乗りで漁船を運航するときは、救命胴衣を着用することが望まれる。 ・ 船舶所有者は、小型船舶を操縦させる場合は、操縦する者が小型船舶操縦免許証を受有していることを確認すること。